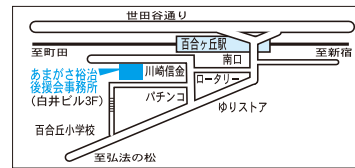




発行所／
みらい川崎市議会議員団事務局
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所23F
TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所／
〒215-0011
川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F
小田急線百合丘駅下車徒歩1分
TEL・FAX:044-955-2417
メール: amagasa-@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <https://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています

横浜市高速鉄道3号線延伸計画のいま 2030年開業に向けて 確実に検討・準備が進んでいます



川崎市として「地下鉄新百合ヶ丘駅と 中間駅周辺の整備」についての取りまとめを

予算議会の質疑から 麻生区のまちづくりに 皆様のご意見を!

横浜市高速鉄道3号線のあざみ野駅～新百合ヶ丘駅の延伸について、「進捗状況はどのようになっているのか」と、多くの方々からお問い合わせをいただいております。

寄せられているご意見の中には延伸事業が遅れるのではないかとといったものから、川崎市側からの市民への報告の少なさによる不安や不満などがみとれます。

特に昨年の決算審査で鉄道事業予算が2年にわたり執行されていないとの指摘があり、一部報道でも取り上げられました。しかしながらこの鉄道予算は2019年に締結した覚書に則って、両市が事業を進めるうえで当然計上しておくべき相互関係に基づく性格のものです。事業を横浜市が行っている以上、川崎市はいつでも執行するために計上をしておかなければならない、言わば抱き合わせの関係性を持つ予算と考えられると思えます。

そこで麻生通信では市民の皆様には现阶段で私の知れる限りの情報について報告させていただきたいと思っております。

令和6年2月上旬に横浜市会議員の同席のもと、横浜市の担当者からヒアリングを受けてきました。

横浜市 令和6年度予算での位置付けは?

横浜市においては、令和6年度予算の中でブルーラインの延伸事業について以下のように位置付けております。

横浜市の令和6年度の事業予算は、2億1607万円で、検討が進んでいます。



川崎市議会議員
あまがさ ゆうじ 裕治

<横浜市 高速鉄道3号線の延伸予算 2億1607万円>

令和2年1月に概略ルート・駅位置を選定し、その後、横浜市条例に基づく環境影響評価手続に着手し、関係機関との協議・調整、行政手続や調査・設計を進めてきましたが、昨今の建設物価の高騰やコロナの影響による鉄道需要の減少など、**顕在化した新たな課題**への対応に時間を要している状況です。

令和6年度は、課題の解消に向けて引き続き取り組むとともに、早期の事業着手に向け、調査・設計の深度化や関係機関との協議・調整、行政手続を進めます。

<横浜市と川崎市の連携> 横浜市と川崎市は、平成23年度に新たな交通体系の検討のための連携・協力に関する覚書を交換して以降、本路線について、両市で具体的な検討・調査を開始しています。このたび、相互に連携・協力し、**早期開業を目指すことを目的**として、覚書を交換しました。また、駅周辺の基盤整備や沿線のまちづくりについても、**両市で相互に連携・協力して、取り組んでいきます。**

「顕在化した新たな課題」とは?

上記の中の「顕在化した新たな課題」を詳しく説明すると次の3点となります。

- 1) 運輸収入に大きな影響をもたらすコロナの影響による働き方の変化は定期券収入の減につながるとともに、沿線の将来人口も減少の方向に転じていく予測がなされている
 - 2) 建設資材の高騰や人手不足による人件費の高騰をはじめ、戦争によるエネルギー価格の上昇は、令和2年比で約2倍程度となっている
 - 3) 令和6、7年度の直近年度における企業償還金の負担が重く、資金不足が大幅に拡大することが見込まれている
- これらの課題解決については、**収支不足が緩やかになるための手法の選択やインバウンド観光の拡大による収益増、延伸事業による魅力あるまちづくりが検討**されています。

詳細設計の検討、手続準備は進行中

つぎに、早期の事業着手に向け、調査・設計の深度化や関係機関との協議・調整、行政手続について、鉄道事業許可取得後すみやかに詳細設計に入れるための深度化がなされているのかについて確認をいたしました。

これまで私が議会質問で質問してきた開業に向けた期間に最も影響を及ぼす**関係地権者が少ないルートの選定や、鉄道運行に適合するためのヨネッティ周辺駅へ向かう最大勾配や曲線半径の決定の検討**がしっかりとなされていることがわかりました。

さらに**横浜市域における延伸沿線周辺のグランドデザインと中間駅の構造についても検討**が深度化していることも確認ができました。

また、横浜市側の事務手続きとして**環境アセスメント、都市計画手続き、鉄道敷設の道路許可申請などの準備も肅々と進捗**されていることもわかりました。

上記の新たな課題や深度化の事例もふまえて**2030年開業に向けて横浜市は延伸事業に取り組んでいます。**

川崎市は市民意見を反映した 地下鉄新百合ヶ丘駅と 中間駅周辺整備の取りまとめを

事業促進のために、川崎市が横浜市とさらに協調するためには、川崎市域に関する事務手続きの準備とともに、延伸効果を生かしたグランドデザインと、多様なステークホルダー(利用者、使用者)にとって利便性の高い中間駅周辺整備を、市民意見を取り入れて早急に取りまとめおくことが重要となります。

ご意見をお聞かせください

お住まいは? **麻生区** 丁目
※居住地ごとに集計の上、川崎市に提出しますので必ず町番をご記入ください

- 解答欄の□にチェックを入れてください。
- 【設問1】新百合ヶ丘駅をどのような目的で利用しますか? **複数回答可**
 通勤通学 仕事 買い物 飲食 趣味・娯楽
 その他()
- 【設問2】新百合ヶ丘駅を、どのくらいの頻度で利用しますか?
 毎日 週4、5回 週2、3回 月2、3回
 月1回 2、3か月に1回 年に数回 利用しない
- 【設問3】麻生区役所に行く目的は? **複数回答可**
 戸籍・住民票の手続き・相談 国民健康保険・年金の手続き・相談
 税金の手続き・相談 妊娠・出産・子育て・学校の手続き・相談
 医療・健康・衛生・動物の手続き・相談
 福祉・高齢者・障害者の手続き・相談 暮らし・環境の手続き・相談
 防災・救急・防犯の手続き・相談 市民館・図書館
 文化・芸術・スポーツ・地域活動・教育などに関する手続き・相談
- 【設問4】麻生区役所を、どのくらいの頻度で利用しますか?
 毎日 週4、5回 週2、3回 月2、3回
 月1回 2、3か月に1回 年に数回 利用しない
- 【設問5】新百合ヶ丘駅周辺の交通渋滞を感じる曜日と時間帯は?
 曜日の 早朝 午前 昼頃 午後 夕方 夜間
 曜日の 早朝 午前 昼頃 午後 夕方 夜間
 曜日の 早朝 午前 昼頃 午後 夕方 夜間
- 【設問6】川崎市の市民への説明は?
 充分 普通 不足
- 【設問7】まちづくりへの要望は? **宛名面に記入欄があります**